

取扱説明書

BIOクリーンハン卓上型 B-600、900、1200 型

お買い上げ有り難うございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。
本製品をより安全に、また、良好な状態でご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、製品を末永くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管してください。
本品を譲渡・貸与される時には、新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱い説明書を、製品本体と共に必ずお渡しください。

 **アズワン株式会社**

安全上のご注意

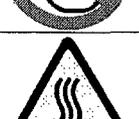
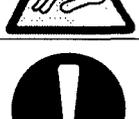
この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

各警告表示の定義

	危険	取扱いを誤ると、死亡または重症を負う可能性があります。
	警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触れると傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	指を挟みこむ危険がある場合の注意		ファン等に巻き込まれる危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示

<設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・60℃以上の高温物体（乾燥機等）に近接しないところでご使用ください。 ・周囲温度が5～40℃以内のところでご使用ください。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・結露しないところ。 ・水平で安定したところ。 ・湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。 ・ホコリの少ないところ及び風通しの良いところ。 ・直射日光のあたらないところ。 ・電源コードは、足を引っ掛けられないようなど所に取りまわしてください。

※この製品は、屋外で使用することはできません。

<使用上の安全に関する注意>

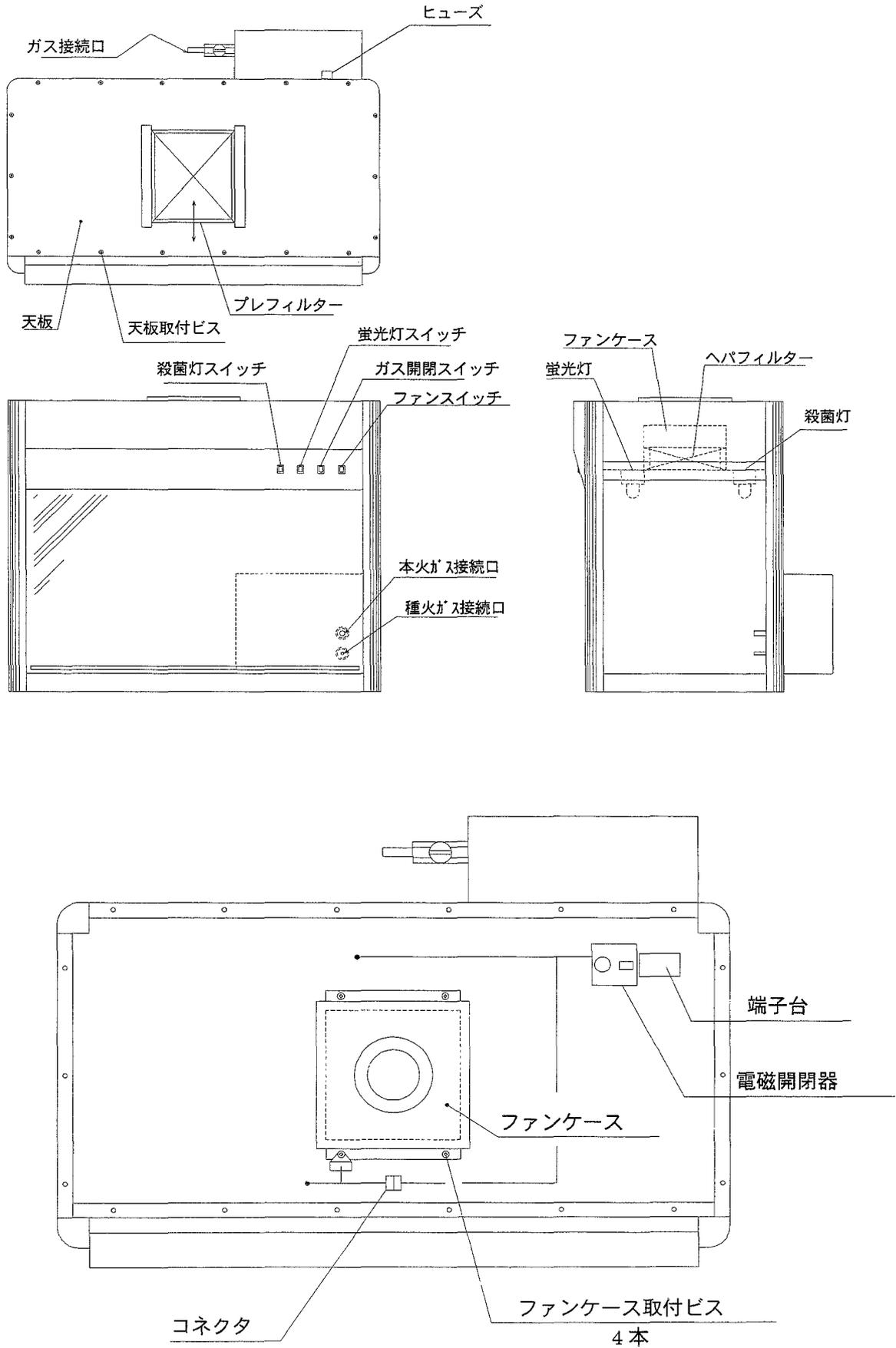
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・濡れた手でスイッチの操作はしないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグの差し込みがゆるいコンセントは使用しないでください。接触不良により、火災の原因となる場合があります。 ・ヒューズは定格外のものと入れ替えないでください。 ・フード部分は有機溶剤全般に侵される恐れがありますので、有機溶剤は一切使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、プラグ部分を持って抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・バーナーを使用しない時は、すべてのコックを閉めてください。 ・十分な風量を確保するため、プレフィルターは10日に1度程度掃除してください。 ・ガスホースは定期的に点検し、劣化・損傷した物は使用しないでください。 ・火災等の災害が発生した場合は、直ちにガス開閉スイッチをOFFにし、使用を中止してください。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・天面の吸い込み口はふさがらないでください。 ・本製品は、酸類（クローム酸等）・有機溶剤（アセトン、キシレン、クロロホルム、アルコール類、酢酸等）に侵されますので、これらの薬品を接触させないでください。

<殺菌灯使用上の注意>

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯中のランプは直接肉眼で見ないでください。点灯中のランプを直接見ると目が痛くなったり結膜炎に似た症状をおこします。点灯中のランプを直接見る必要のある時は必ず保護メガネ（普通のガラスレンズのメガネも可）をかけて下さい。 ・紫外線（殺菌線）を皮膚に直接あてないでください。皮膚に直接あてると照射時間によっては、皮膚に急性の炎症をおこすことがあります。 ・強い反射光を直接肉眼で見たり、直接皮膚に当てないでください。強い反射光を直接見ると目には結膜炎に似た症状、また、直接皮膚に当てると皮膚には急性の炎症をおこす恐れがあり、危険です。 ・ランプはガラス製品ですから、強い衝撃を与えたりキズをつけたりしないでください。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・退色しては困るものには使用しないでください。紫外線（殺菌線）により退色します。 ・ランプ交換の時は、器具に確実に取り付けてください。

<各部の名称>

下図は B-600, 900。B-1200 はプレフィルター、HEPA フィルター及びファンがそれぞれ 2 枚（基）となります。



＜クリーンベンチのご使用方法＞

1. 設置上の安全に関する注意の条件を満たすところに、本品を置いてください。
 2. 電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んでください。
 3. ガス開閉スイッチを OFF にしてください。
 4. ファンスイッチを ON にしてください。この時点でクリーンエアーが吹き出します。
 5. 必要に応じて蛍光灯又は殺菌灯を点灯させてください。
- ※ パーナーを使用しないときは、本体背面のメインガスコックを閉めてください。

＜蛍光灯・殺菌灯について＞

- ・蛍光灯及び殺菌灯器具の側面にある周波数切り替えスイッチを、使用される地域に合った周波数に合わせてください。（工場出荷時は 50Hz に合わせています。）

＜プレフィルターの掃除・交換について＞



- ・安全のため、各スイッチを必ず OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プレフィルターを交換する時は、新しいフィルターと古いフィルターを入れ替えてください。掃除をする場合は、掃除機を使用してホコリを吸い取ってください。又、汚れのひどい時は、水洗いして十分乾燥させた後、元どおりに組み付けてください。

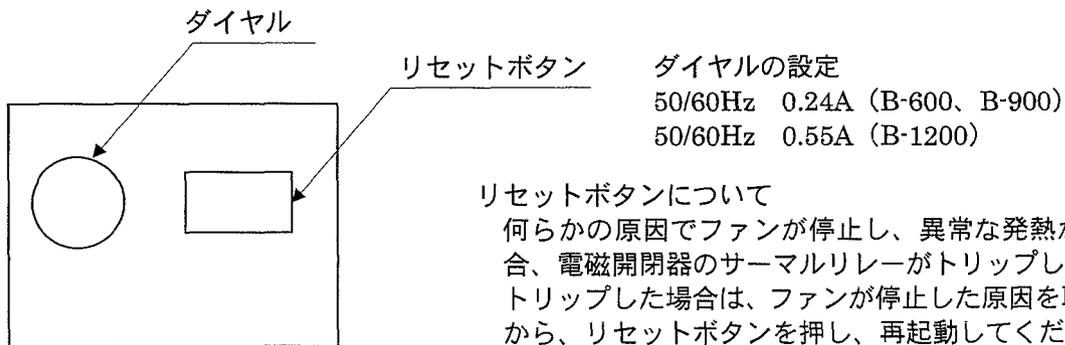
＜HEPA フィルターの交換について＞

HEPA フィルターの寿命は塵埃の量によって異なりますが、一般の室内で連続運転した場合約一年が目安です。風速風量は塵埃の付着と共に減少します。十分な風速風量が必要な場合は早めに交換してください。



- ・安全のため必ず各スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・組み付けの時は、内部コードをケースなどに挟まないように注意してください。

1. 吸い込み口のある天板を止めているビスを緩めて、天板を外してください。
2. ファンケースにつながっているコネクタを外してください。
3. ファンケース取り付けビス（計 4ヶ所）を緩めて本体と分離し、HEPA フィルターを取外してください。（4本の内 1本はコンデンサと共締めになっています。）
4. 新しい HEPA フィルターを、パッキン側をフード側（下）にして取付けてください。
5. 組み付けは、上記の逆の順序で組み付けてください。なお、ファンケース取り付けビス 4本の内 1本はコンデンサと共締めになっていますので、コンデンサを組み忘れないよう注意してください。



電磁開閉器 部分拡大図

＜ガスバーナーのご使用方法＞

※ガスの仕様が合っている事を確認してください。

- ①ファンスイッチを ON にし、ファンを作動させてください。※ファンが作動していない時は、バーナーを使用する事が出来ません。
- ②フットスイッチのパイロットランプが消えている事を確認してください。ランプが点灯している場合はフットスイッチを一度踏んでランプを消してください。
(パイロットランプはファンスイッチの上部にあります。)
- ③バーナーのガスコックが全て閉まっている事を確認後、本体背面にあるメインのガスコックを開いてください。
- ④ガス開閉スイッチを ON にしてください。
- ⑤バーナーの種火側のガスコックのみを開き、種火を着火してください。※着火時注意。種火の炎が出来るだけ小さくなる様、コックを調節してください。
- ⑥バーナーの本火側のガスコックを開いてください。
- ⑦フットスイッチを一度踏むと本火が着火します。もう一度踏むと本火のみ消火します。
- ⑧本火側のガスコックを調節し炎の調節をしてください。同時にバーナーのエアーコントローラーを調節し、適当な炎にしてください。

※種火を着火する際は、本火側のコックが閉まっている事を確認してください。

※クリーンベンチのファンとインターロックをとっていますので、ファン停止中は、バーナーを使用する事は出来ません。

※ガスバーナーの炎は必要以上に大きくする事は絶対に避けてください。

※最初の点火時にはガス配管内にエアーが溜まっておりますので、エアーが抜けるまで着火出来ない事があります。

※本品から離れる際は必ずバーナーの炎（種火も含む）は消火してください。

※本品の天井部（内部）には蛍光灯、殺菌灯やメインフィルターなどがありますので、バーナーの使用には十分注意してください。

※ガスバーナーを使用しないときは必ずメインのガスコックを含むすべてのガスコックを閉めてください。

※何らかの原因でファンが停止すると、安全装置が働き、バーナーへのガス供給が停止し、炎が消えます。このような場合は停止した原因を取り除く処置をする必要があります。

※ガスバーナーの使用中に災害等、危険な状況となった時は、直ちにガス開閉スイッチを OFF にしてください。バルブが閉じてガスの供給を停止します。

＜殺菌灯について＞

※目に炎症をきたす恐れがありますので、殺菌灯を直視しないでください。

※殺菌灯を皮膚に直接照射しないでください。炎症をきたす恐れがあります。

＜プレフィルターについて＞

プレフィルターは10 μ m以上の比較的粗大な粒子を捕集するものです。目詰まりをすると処理風量が低下し、清浄度も低下しますので、定期的に清掃してください。

＜メインフィルターについて＞

運転による目詰まりで圧力損失が大きくなり、風量が減少し清浄度に影響が出ます。清浄度が悪くなった場合は、メインフィルターの交換が必要です。（再生することは出来ません。）清浄度は年1回程度チェックしてください。

＜フットスイッチについて＞

本品のフットスイッチは一度踏むとON、もう一度踏むとOFFとなります。この時クリーンベンチ正面上部のパイロットランプが点灯、消灯します。

バーナーの種火にライター等で着火する際にはこのランプが消えている事を確認してください。ランプが点灯しているときは本火のガスがバーナー部までガスが流れており、もしも、本火のガスコックが開いていた場合には本火に着火し、やけどをする恐れがあります。

<お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

 警告	
	・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	・清掃する場合は、外装や内部に直接水をかけたりしますと漏電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。
 注意	
	・クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

<仕様>

	B-600 型	B-900 型	B-1200 型
外寸 (mm) (H: 本体高さ/扉全開時の全高)	W600×D637×H720/918	W900×D637×H720/918	W1200×D637×H720/918
プレフィルター	227×227×6 10～20μm粒子を68%集塵×1枚		左記を2枚
HEPA フィルター	200×200×50 0.3μm粒子を99.97%以上集塵×1枚		左記を2枚
使用周囲温度	5℃ ～ 40℃		
ファン風量	1.8m ³ /min (ファン単体能力) ×1基		左記ファンを2基
ヒューズ	ガラス管 φ5×20 2A		ガラス管 φ5×20 3A
電源	AC100V 50/60Hz		
蛍光灯	15W×1灯 昼光色		15W×2灯 昼光色
殺菌灯	15W×1灯		15W×2灯
ガスバーナー	1本		
フットスイッチ	1個		

第4版 2002年6月作成



■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875
FAX  0120-700-763

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません